ほんまもん観光人に会いに行く
臼杵まなび旅

ほんまもん観光人（臼杵市で活躍している大人の方々）
との交流を通して進学や進路、職業観を養う

# 城下町インタビュー研修

「京染めのふじわら」にて悉皆の話を聞く生徒たち

臼杵市とポルトガルの交流について解説

禅寺にて座禅体験とご住職の講和

| | |
|---|---|
| 概要 | 臼杵の城下町で活躍する老舗商店主さんや新たなビジネスを起業された方々、寺院のご住職、観光ガイドを生業にする方々などを訪ね、その人たちが大事にしている哲学や人生観にふれるキャリア教育です。<br>臼杵市が最もお薦めする探究学習プログラムです。 |
| プログラムのパッケージに含まれるサービス | ①受入対応崎の謝礼（最大２時間以内）、②ほんまもん観光人のコーディネートと調整費<br>③城下町マップ、④該当するほんまもん観光人のプロフィールシート、⑤ワークシート<br>⑥オリエンテーション会場や教員本部となる会場費および会場設営費用（臼杵市観光交流プラザ）<br>※③・④・⑤はPDFデータ渡し |
| 受入可能人数 | 160名（学校様のご希望や滞在時間などを考慮の上、ご相談に応じます） |
| 受入可能期間 | 原則として通年（祭事や諸事情により実施できない場合もあります） |
| 所要時間 | 基本／13：30スタート、16：00終了・出発（応相談） |
| 雨天対策 | 実施可能（訪問箇所への移動時のみ傘・カッパなどを利用） |

可児 明子（かに あきこ）

Profile
別府から臼杵に嫁いで50年以上。老町通りの明るい笑顔で親しまれる、店の看板娘。facebookやインスタグラムなどSNSを駆使して店の情報を発信している。

■大切にしていること
・いつでも笑顔に笑いのある店　・足元（地元）を大事に、目は世界に
・「臼杵にカニ醤油有り」

■夢やあこがれ
・商品開発やネーミング　・陶列や販売の工夫

■見てほしい・観光地や特わってほしい体験
・二王座　・臼杵の自然　・ふぐ（夏でも冬でも）

■私の"SDGs＝＋CO"
＋大量購入を勧めない

伝統の味に笑いをプラス
老舗蔵元の新たな挑戦

湯布院名物酒、「カニ醤油」は九州でもっともきい味噌醤油の蔵元だ。420年以上の歴史を感じさせる外観だが、店内に入るとその印象はガラリと変わる。現代的味噌や醤油とともに高品質醤油「ダーシャ ハワー」といった自前の商品がズラリと並んでいるのだ。老舗のイメージとは異なる商品は、訪れた人たちを笑顔に変えて行く。眺めているだけで楽しい店。買ったらもっと楽しい店。それが「カニ醤油」だ。
店の看板娘は可児明子さん。12代目当主・実一郎さんの母だが、今も元気で店に立つ。「醤油蔵業務を手かったけど、息子が引退して楽ってさきは娘はたち夫婦だけになっていてね。幅くて商品もかなり豊を取て、息子が「店が暇いのはユーモアがないからだ」っていったんですよ。それからほは変わった。実一郎さんを中心に、小ロット で個性的な新商品を次々に開発。ダジャレのような商品もたくいい題題となった。「たくさん作ったけど、消えていった商品もまいんですよ。まあ、大量生産だったな。こんなことできませんよ」と笑うが、その自由な発想ち、伝統に裏打ちされた技があってこそ。長い歴時で培った技術は、さぞも軽やかで軽やかだ。「足元は、つねに地元」という「カニ醤油」。だがその眼差しは、もう少し遠くを見ているようだ。


湯布院名物酒、「醤油」（カニ醤油）はカニ醤油の蔵元。


昔ながらの伝統の味噌。


ネーミングセンスが光るオリジナル商品。

カニ醤油合資会社
〒875-0041 大分県臼杵市臼杵218番地
TEL 0972-63-1177
https://www.kaniya-1600.com

ほんまもん観光人のプロフィールシートには
自己紹介の他、SDGsの取組なども

【修学旅行用】

ほんまもん城下町お仕事研修
うすき
学び旅ワークブック

お気に入りのほっとさん一つを触って見て！

市立　　中学校
年　　組　　班
（氏名）

ワークシートを活用して、旅行当日に
聞いてみたいことをまとめておこう

＜プログラムに参加した生徒の感想＞

「吾唯足知」という言葉には、足るを知っている人は貧しくても富んでいて、足るを知らない人は富んでいても貧しいという意味があることを知りました。

店としての信念や臼杵の魅力、そして今は道をしっかりと決めなくてもいいと知り、とても心が動かされました。

色々な話をして頂きましたが、「臼杵のいいところは臼杵の人自身」というのが心に残りました。私も商店街を歩いているとたくさんの方々が声をかけてくださったり、本当にその通りだなと感じました。

どういう気持ちで仕事をしているのかを知れて、いい経験になりました。